

2024年5月31日

日本ゼオン、SDGs 貢献製品認定制度の運用を開始

～2030 年度目標「SDGs 貢献製品の売上高比率 50%」に向けて～

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:豊嶋 哲也 以下、ゼオン)は、このたび、SDGs 貢献製品認定制度の運用を開始しました。








本制度は、幅広くご利用いただいているゼオン製品の中でも、特に社会課題の解決への寄与度の高い製品を SDGs 貢献製品として認定するものです。ゼオンは、これら製品の開発・製造・販売に注力することで、社会への貢献と企業としての持続的な成長の両立を図り、サステナビリティ経営を一層推進していくことを目指しています。



ゼオンの「中期経営計画:STAGE30」では、2030 年度目標として「SDGs 貢献製品の売上高比率 50%」を掲げており、このたび、製品の認定基準等を決定し、39 製品を SDGs 貢献製品に認定しました。これら 39 製品の 2023 年度の売上高比率は 34.8%になりました。

SDGs 貢献製品の認定は、社会課題解決への貢献度や範囲、事業の持続性などを社内で審査し、ゼオンのサステナビリティに関する最高決議機関であるサステナビリティ会議で決定します。今後は毎年、認定を見直し、認定製品の拡充を図っていきます。

ゼオンは、企業理念「大地の永遠と人類の繁栄に貢献する」を目指し、独創的な技術・製品・サービスの提供による地球や社会の課題解決に引き続き取り組んでいきます。

【参考】主な SDGs 貢献製品

製品名 ※写真は用途のイメージ	用途、貢献ポイント	該当する SDGs
溶液重合スチレン・ブタジエン ゴム (S-SBR) 	【主な用途】 省燃費タイヤ 【貢献ポイント】 ・分子構造のコントロールにより「ウェットグリップ性」「転がり抵抗」「耐摩耗性」の3つの性質を高いレベルで実現 ・自動車の燃費向上に寄与し温室効果ガス排出量の削減に貢献 ・耐摩耗性向上により粉塵の発生を抑制し、大気汚染防止に貢献	  
シクロオレフィンポリマー (COP) 	【主な用途】 医療検査デバイス、医薬品製造容器、医療包装容器 【貢献ポイント】 ・高い防湿性、各種薬品への耐性、低不純物性、各種滅菌への適合性を有し、検査分析や医薬品製造、薬剤の輸送・保管に用いることで、医療サービスの質やアクセシビリティの向上に貢献	 

<p>製品名</p> <p>※写真は用途のイメージ</p>	<p>用途、貢献ポイント</p>	<p>該当する SDGs</p>
<p>電池用バインダー</p> 	<p>【用途】 リチウムイオン電池</p> <p>【貢献ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充放電に伴う膨張収縮への耐性や、化学反応活性化による出力向上により、リチウムイオン電池の長寿命化、高出力化に貢献 ・EV の動力源として、走行時の温室効果ガス排出削減や大気汚染防止に貢献 ・モバイルデバイス、電子機器等の小型化や高性能化を実現し、産業発展や経済成長に貢献 	

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室

電話:03-3216-2747 お問い合わせフォームは[こちら](#)